



労働時間を短縮すると受給できる 働き方改革推進支援助成金 (労働時間短縮・年休促進コース)

最大受給額
50万円

この助成金は、労働時間の短縮ができる機器を購入し、
その他の条件をクリアした場合に、
購入額の75% (最大50万円まで) が助成金として支給されます。

<業種別> 助成金の支給事例

※会社の状況によるので、以下の事例が必ず認定されるということではありません。

飲食業



食器洗浄機を購入

例えば... 助成金で実質
70万円 ▶ **50万円**

導入前

食器洗い作業を人の手で
行っており、お客さんの多い時間
帯だと2人がかりになること
もあった。また、洗い残しの
面でも課題があった。

導入後

食器洗い作業の負担が軽減さ
れ、その分調理に人手を回せ
るようになった。洗い残しの
発生も抑えられるようになった。

小売業



POSレジシステムを購入

例えば... 助成金で実質
100万円 ▶ **50万円**
(5台分)

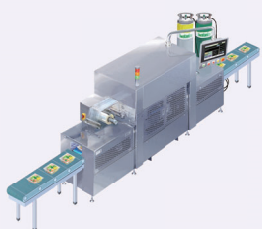
導入前

在庫を人の手で数えていたた
め、在庫確認に人手が割かれ
ていた。数え間違いや発注ミ
スもしばしば起きていた。

導入後

POSシステムを使って、人手
を使わず正確に在庫管理・発
注ができるようになった。

食料品製造業



自動包装機を購入

例えば... 助成金で実質
100万円 ▶ **50万円**
(2台分)

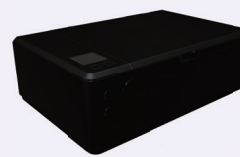
導入前

既存の包装機は熟練オペレー
ターしか作業できず、作業効
率が低かった。また、賞味期
限などの日付刻印の切替えは
手作業で行っており、衛生面
でも課題があった。

導入後

高性能な自動包装機の導入に
より、包装能力が50個/分→
60個/分となり、作業効率が
向上した。手作業で行って
いた工程がタッチパネルで行
えるようになり、日付変更にか
かっていた時間も削減された。

製造業



ラベルプリンタを購入

例えば... 助成金で実質
75万円 ▶ **25万円**
(3台分)

導入前

従来のラベル作成では、パソ
コンヘータ入力後、印刷機
にラベルシートをセットし、
再度パソコンへ戻り、印刷
をする手間があった。そのため、
移動時間、印刷機に専用紙を
セットする時間がかかってい
た。

導入後

ラベルプリンタの導入により、
入力・印刷がその場で済み、
移動時間、作業時間の短縮が
できた。短縮した時間で他の
作業をすることができるよう
になり、労働能率増進が図ら
れた。

注意

11月末もしくは予算が無くなったら受付終了!

この助成金は、申請要件や手続きが複雑になっているため、
自力での申請よりも社労士に代行してもらうことをお勧めします。
是非ともお早めにお問い合わせください!

